

# 神奈川県における地域共生社会の実現と 包括的支援体制の構築にむけて

## ニュースレター

No.4

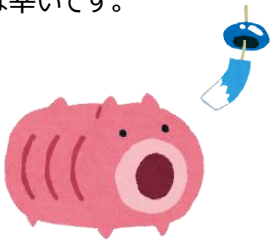
2022年8月発行



県内の行政・社協の地域福祉推進にかかわる方々と、ともに学び、情報共有しながら、神奈川県らしい地域共生社会および包括的支援体制のあり方を考えるニュースレターNo. 4をお届けします。

今号は、重層的支援体制整備事業に関する研修報告と今後の予定、昨年度から引き続き実施するCSW研修・社協ゼミのお知らせをさせていただきます。また、近年社会問題として取り上げられている「ヤングケアラー」に関する講演会の開催案内も掲載しております。

行政・社協の地域福祉推進担当者に深くかかわる内容になっていますので、皆さんの職場でもぜひ情報共有いただければ幸いです。



### CONTENTS

- ◆P1～2 \*重層的支援体制整備事業について
- ◆P3 \*CSW研修について・社協ゼミについて
- ◆P4 \*ヤングケアラーの取り組みについて \*お知らせ

## ～包括的な支援体制及び重層的支援体制構築事業～

本会では、昨年度に引き続き、重層的支援体制整備事業等に関わる後方支援事業を県から受託しています。市町村が行う包括的支援体制の構築や重層的支援体制整備事業の推進に向けて、研修や連絡会、アドバイザー派遣により事業の取り組みを支援します。

今号では研修会・連絡会の報告と、今後の予定についてお知らせします。

### ◎研修報告◎

7月20日に市町村行政・社協を対象に「包括的支援体制構築・重層的支援体制整備事業担当者研修会・連絡会」を開催し、51名の方に、ご参加いただきました。

研修会は「地域共生社会における包括的支援体制の構築」をテーマに、同志社大学の永田祐教授に包括的支援体制構築の必要性や、重層事業の本質などについて、ご講義いただきました。

ご講義の中で包括的支援体制や重層事業は、従来、縦割りになっているものに横串をさすことであり、新しいものをつくる訳ではなく、各機関や地域で積み上げてきた取り組みを丁寧に見直し、重なっている部分をつなぎ合わせることで、新たな機能や価値を付け加える「棚卸」と「リノベーション」という、考え方を伺いました。これまでの取り組みを見直し、活かしていくことで、地域ごとに合った包括的な支援体制の基盤ができあがっていくことや、その際に重層事業はどう活用できるのか、ヒントとなるお話を伺うことができました。

連絡会では行政、社協ごとにグループを分けて包括的支援体制構築に向けた取り組みと課題について情報交換を行いました。

研修会・連絡会のアンケート結果は次ページで紹介します。

#### 地域共生社会実現における 包括的支援体制の構築

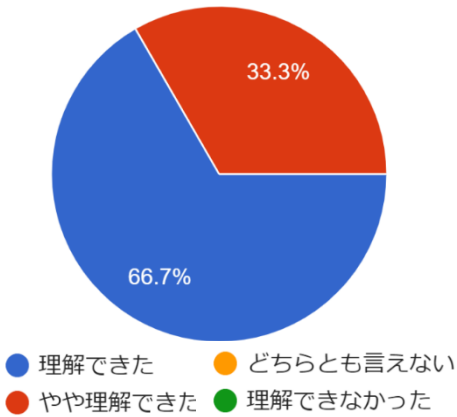
包括的支援体制構築・重層的支援体制整備事業担当者研修会・連絡会

同志社大学 社会学部  
永田祐



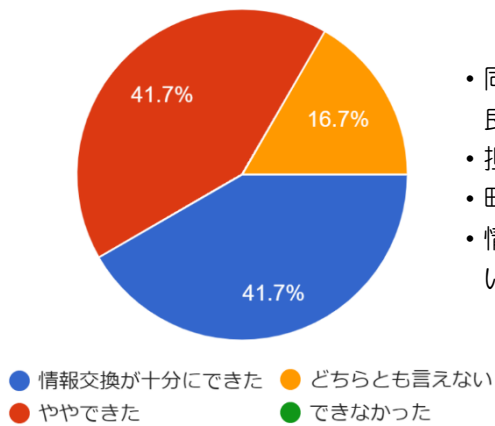
## ◎アンケート結果◎

### ①研修会に参加しての感想（回答 24 件）



- ・資料が簡潔でわかりやすく、かつ必要十分な情報が含まれていたため、理解につながった。職場内でも共有したいと思います。
- ・地域との共働がなぜ必要かという説明など、目から鱗という感じでした。その他の説明も非常にわかりやすかったです。
- ・特に「参加支援」「地域づくり」についてまず自分たちがイメージを持ちづらかったところのモヤが少し晴れた先生からのお話でした。
- ・重層的支援体制整備の部分が難しかったので、時間があれば、具体的な活動事例（人数が少ない町部の社協での事例）などをお伺いしたかったです。

### ②連絡会に参加しての感想（回答 24 件）



- ・同じ社協ということで、気兼ねなく意見交換や質問もできた。参加人数も丁度良いと思います。
- ・担当職員の専門性の担保について十分に質問することができた。
- ・町村部での共有ができたらもっと良かったと思いました。
- ・情報交換に当たって、他市の情報等を資料等にまとめていただけると話しやすいと思います。

## ◎今後の予定◎

9月22日に全体連絡会・課題別研修会を下記の内容で開催します。また、12月の2回目の課題別研修ではテーマを「地域づくり・参加支援について」（予定）とします。1回目の多機関協働と合わせて、重層事業における「個別支援」から「地域支援」につなぐ考えや手法を学べる機会にしたいと考えています。ぜひご参加ください。

9月22日(木)	<p>【全体連絡会】（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の包括的支援体制及び重層的支援体制整備事業の動きについて</li> <li>・重層的支援体制整備事業における地域づくり、参加支援の内容について</li> <li>・参加者との情報交換</li> </ul> <p>（説明）厚生労働省 社会・援護局 地域共生社会推進室（※調整中）</p> <p>【課題別研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*第1部・講義 「重層的支援体制整備事業における多機関協働について」</li> <li>*第2部・グループワーク 「多機関協働による専門職と地域とのつながりについて」</li> </ul> <p>（講師）岸川 学氏（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部 講師）</p>
12月(予定)	<p>【課題別研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域づくり・参加支援について」（予定）</li> </ul>
2月(予定)	<p>【担当者連絡会・全体研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー派遣報告 ほか(予定)</li> </ul>

今年度も  
開催

# ～社協の総合相談をすすめるための

## 関連研修（CSW 研修）～

昨年度から開始した、市町村社協職員を対象とした「社協の総合相談をすすめるための関連研修（CSW 研修）」を今年度も開催します。本研修は社協基礎研修と社協ゼミナールの2種類から構成され、個別支援や地域支援を行う社協職員のコミュニティソーシャルワーク力を高め、社協の総合相談を推進し、神奈川における包括的な支援体制の構築を目指していきます。昨年度の研修内容は本会ホームページに掲載しているニュースレター No.2、No.3 をご覧ください。

### ●社協基礎研修

今年度の基礎研修は1日目、2日目で地域支援、個別支援について学び、3日目に実践報告を聞き、自らの取り組みの振り返りを行います。

	日時	テーマ	講師
1日目	9月12日(月) 14:00～16:00	「地域のアセスメント・社会資源開発のプロセス」 (地域アセスメントの手法、地域づくりへのつなげ方)	駒澤大学 川上 富雄氏
2日目	9月27日(火) 14:00～16:00	「ソーシャルワークの基礎」 (人間・人権尊重、社会福祉の理念、自立と支援の視点、エンパワメント、ソーシャルワーカーの倫理など)	大阪公立大学 野村 恭代氏
3日目	10月20日(木) 14:00～16:30	「社協の実践から考える」 (地域住民から見た社協、社協CSWの実践について、社協CSWの実践報告)	武蔵野大学 渡辺 裕一氏 実践報告者（市町村社協職員）

### ●社協ゼミナール【記録・事例検討・ニーズに関する学習の機会】

指導教授と少人数の社協職員で実施する社協ゼミナールは、社協職員個々の主体性、問題意識に基づき、市町村の垣根を超えて社協職員同士が学びあいます。今年度のゼミは、地域づくりを行っていくうえでの悩みや課題を検討する【記録・事例検討・ニーズに関する学習の機会】をテーマに開講します。

#### 《昨年度のゼミ生の感想》

「他市町の社協の仲間と楽しく取り組めた」「できることをこれから少しずつ自組織に取り入れていきたい」「ゼミに来ることが楽しみだった」、といった声があげられ、講義形式の研修とは違った学びを得ることができました。

※お申し込みは下記二次元コードからお願いします。（ゼミナールは別途推薦書の提出あり）

(1)社協基礎研修



(2)社協ゼミナール





# ～ヤングケアラーの取り組みについて～



## ～ヤングケアラーの現状～

最近、「ヤングケアラー」と言う言葉を耳にされた方は多いと思います。以前から存在していたにもかかわらず、その現実はまだまだ知られていない状況です。

国が初めてヤングケアラーの全国調査を行った、令和3年3月の報告書では、「世話をしている家族がいる」と回答した中高生の割合は、20人に1人という結果となりました。家事や介護等を担うことで、学力への影響、部活動等への参加や進学が難しい等、本来の子どもらしい生活や将来を諦めざるを得ない状況が明らかになっています。ケアを担う子どもの存在は周囲から見えにくく、孤独・孤立に陥る傾向が強いことも調査結果から分かっています。

ケアラー支援には、「こういう時は、こうしましょう。」といったマニュアルはありません。一人一人が抱える問題も違います。どのような支援を必要としているのか、ケアラー本人、家族の気持ちに寄り添い、一緒に考えることが大切です。

## ～県社協の取り組み～

現在、本会では、ケアラー支援専門員設置事業を神奈川県から受託し、県内外のケアラー支援についての現状や、取り組みについて関係機関に出向き、情報収集や関係作りを行っています。

9月16日には「ヤングケアラー等の現状と支援の課題～基礎的理解とこれからの支援のために～」をテーマとした研修を開催します。本研修を通して、ヤングケアラー等に関する理解を進め、福祉関係者をはじめとした私たち大人ができることを考える機会とします。また、参加者同士の意見交換も実施します。各地域でケアラーの支援に取り組む皆さんとのネットワークを作り、ケアラーとその家族が孤立することのないように、皆で支えあえる地域を作っていきましょう。

## ～研修のご案内～

日時	9月16日(金)13時15分～17時
内容	①基調講演「ヤングケアラー等の現状と支援の課題」 横山 恵子氏(横浜創英大学 看護学部長) ②当事者の方からのお話 ③パネルディスカッション ④意見交換(希望者のみ)
開催方法	web会議システム「Zoom」によるオンライン開催

※詳細は本会 HP をご覧ください



HP



申込

## お知らせ

### 本事業にかかわる県社協の担当職員をご紹介します

《地域福祉部 地域課》

・渡邊朋子(わたなべ・ともこ) \*部長

・大関晃一(おおぜき・こういち) \*課長

・重山美絵子(しげやま・みえこ)

・上田泰成(うへだ・たいせい)

・渡辺直樹(わたなべ・なおき)



◆感想、情報等お寄せください◆

発行：社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部地域課

横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター12階

電話番号：045-312-4813・4815 メール：tiiki@knsyok.jp

ニュースレターNo.4 はいかがだったでしょうか。ぜひ感想をお寄せください。また、各地域の取り組みや、記事に掲載してほしい内容等、各市町村から県内全域に共有したい情報をお寄せください。